

平成30年度

自己評価報告書

平成31年4月2日

四国医療工学専門学校

目 次

1. 教育理念、目的
2. 平成30年度の目標と計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
 - ① 教育理念・目的・育成人材像
 - ② 学校運営
 - ③ 教育活動
 - ④ 学修成果
 - ⑤ 学習支援
 - ⑥ 教育環境
 - ⑦ 学生募集と受入れ
 - ⑧ 財務
 - ⑨ 法令等の遵守
 - ⑩ 社会貢献・地域貢献
 - ⑪ 総括
4. 自己評価結果(総括)

*自己評価報告書における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする。
各点検項目は2段階(○:評価できる、×:評価できない)で
評価する。評価項目は、点検項目における評価において、
○の数が4分の3以上をA、4分の2以上4分の3未満をB、
4分の1以上4分の2未満をC、4分の1未満をDとして評価する。
(A:十分である、B:概ね十分である、C:やや不十分である
D:不十分である)

1. 教育理念、目的

教育理念	医療従事者として必要な、知識や技術の習得するとともに、礼儀・礼節を培い、豊かな人間性を形成し、医療現場に貢献できる人材を育成する。
目的	本校は学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、医療を中心にした人物の育成、ならびに広く社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

2. 平成30年度の目標と計画

目標	(重点目標) 1. 医療情報学科 (1)定員確保 (2)各種検定試験の合格率向上 (3)就職率100% (4)退学率低下 2. 臨床工学学科 (1)定員確保 (2)臨床工学技士国家試験合格率100% (3)第2種ME技術実力検定 3年生合格率100%、2年生合格率50% (4)就職率100% (5)退学率低下
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) (1)広報活動の充実 (2)補講および試験・検定対策 (3)就職試験対策 (4)個人面談、集団面談、およびガイダンスの充実

① 教育理念・目的・育成人材像

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	教育理念等は、明確に定められており、広く周知徹底をしている。
	また医療業界のニーズを取得しながら、中長期視点での将来構想も策定している。
取組状況と その分析	昨年度はSNSを用いた周知活動も開始して、学内外への周知を実施できている。評価項目の1-1は評価できるとした。また、日本臨床工学技士教育施設協議会等を通して、変化の早い医療現場のニーズをいち早く捕らえており、1-2の項目も評価できるとした。
今後の 改善方策等	昨年度も積極的な社会・関連業界のニーズを掴んできた。特に臨床工学技士教育においては、在宅医療に関連する業務の拡大が期待されており、臨床実習の内容を改善する取り組みを進めていく。

1-1	教育理念・目的・育成人材像（以下「教育理念等」）は、定められていますか	A
1-1-a	教育理念等はそれぞれ定められていますか	○
1-1-b	教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	○
1-1-c	学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	○
1-1-d	教育理念等を学校外に広く公表していますか	○
実施状況等	ホームページ、SNS、学校案内、オリエンテーション、職員会議、後援会総会、教員対象説明会等において、適宜、解りやすく明文化して学内外へ周知できた。	
確認資料	学校案内、ホームページ、学生便覧、職員会議議事録、後援会総会資料	

1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	A
1-2-a	中期的（3～5年程度）な視点で、学校の将来構想を描いていますか	○
1-2-b	地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	○
実施状況等	法人理事会・評議委員会により中長期の構想策定を行っている。 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会加入により、活発に意見交換を行っている。	
確認資料	理事会・評議委員会資料 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会ホームページ	

② 学校運営

評価	A
-----------	----------

評価結果 (総括)	学内の意思決定において、学則および学校案内において定められている組織・会議・委員会は、問題なく運用されている。
取組状況と その分析	本校の運営方針は、教育理念に沿って定められており、それに基づいて毎年、事業計画を策定して、執行している。組織運営は、運営規定が整備されており、法人理事会や評議員会で審議決定している。また人事・給与規定も就業規則として整備されており、それに則り運用されている。
今後の 改善方策等	開校から長い年月が経過しており、本校の運営に関しては、適切に運営されていると言える。しかし、業務の効率化については、情報システムの未導入により、業務改善の余地が残っており、今後も改善を進めていく。

2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	A
2-1-a	運営方針は定められていますか	○
2-1-b	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	○
2-1-c	運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	○
実施状況等	教育方針は学校案内に掲載し、教職員・学生ともに把握している。	
確認資料	学校案内	

2-2	事業計画を作成し、執行していますか	A
2-2-a	事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいますか	○
2-2-b	事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	○
実施状況等	毎年、学校運営の事業計画は策定され、それに沿って教育方針や教育計画の策定される。	
確認資料	理事会・評議委員会資料	

2-3	組織運営は適切に行われていますか	A
2-3-a	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されていますか	○
2-3-b	意思決定に至る手順・ルートは規程等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	○
実施状況等	法人理事会・評議員会で運営における年間重要案件は審議決議されている。	
確認資料	理事会・評議委員会資料	

2-4	人事・給与に関する制度を確立していますか	A
2-4-a	人事・給与規程等が整備され、運用されていますか	○
実施状況等	人事考課、昇進、昇格、昇給に関しての制度は整備されている。	
確認資料	就業規則	

2-5	業務の効率化を図っていますか	D
2-5-a	情報システム化に取り組むなど業務の効率化に努めていますか	×
実施状況等	情報システム化は進んではないものの、電子データによる業務連携が広がっており、今後も改善を進めていく。	
確認資料		

③ 教育活動

評価	A
-----------	----------

評価結果 (総括)	「授業計画（シラバス）」通りに授業等は運営できた。 医療情報学科は、多くの検定試験において高い検定取得率を継続している。 臨床工学学科は、臨床工学技士国家試験の合格率が96.7%と全国でも高い結果となった。
取組状況と その分析	目標の設定、教育課程・教育方法・評価、成績評価・単位認定は、明文化した上で運用しており、概ね評価できる。資格の取得に必要な指導体制も整っており、資格取得の結果も出ている。また、本校独自の教育を取り入れることで、医療従事者に必要な職業倫理観を養っており、効果的な学生の指導体制が構築されている。
今後の 改善方策等	医療情報学科は、総ての検定試験において、全員合格を目指す。 臨床工学学科は、臨床工学技士国家試験において、全員合格を目指す。 学生の意見を取り入れた授業改善を継続する。

◎目標の設定等

3-1	3-1教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	A
3-1-a	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	○
実施状況等	現場に求められる人材を育成するように努めている。	
確認資料	シラバス、時間割	

◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	A
3-2-a	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	○
3-2-b	教育課程（カリキュラム）は、事前に学生に開示されていますか	○
3-2-c	〔職業実践専門課程〕修業年限は2年以上ですか	○
3-2-d	〔職業実践専門課程〕総授業時数は1,700時間以上または総単位数が62単位以上ですか	○
実施状況等	厚生労働省の指定規則カリキュラムを基準にしている。 カリキュラム編成について学科内で検討している。	
確認資料	学則、学校案内、ホームページ、学生便覧	

3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	B
3-3-a	キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）（平成23年1月31日）の内容を参照していますか	×
3-3-b	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	○
実施状況等	両学科ともに、早期に病院見学を実施して、職業観の育成を図っている。 武道を取り入れた独自の授業を実施することで道徳心を培っている。	
確認資料	病院見学計画表、学校案内、ホームページ、時間割	

3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	C
3-4-a	学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	○
3-4-b	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	×
3-4-c	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、授業科目等教育課程を編成・見直していますか	×
3-4-d	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っていますか	○
実施状況等	アンケートや特別授業を実施している。	
確認資料	アンケート用紙、時間割	

◎成績評価・単位認定等

3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	A
3-5-a	成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	○
3-5-b	成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	○
実施状況等	基準は明確である。	
確認資料	学則、学生便覧	

3-6	成績評価等を適正に行っていますか	B
3-6-a	判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	○
3-6-b	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っていますか	×
実施状況等	判定会議を開いている。	
確認資料	判定会議議事録	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	A
3-7-a	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	○
3-7-b	カリキュラムや授業計画（シラバス）は文書化またはデータ化し、学生に配付していますか	○
実施状況等	明確に定められている。	
確認資料	学生便覧、時間割	

3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	A
3-8-a	資格・免許取得のための指導体制がありますか	○
実施状況等	検定対策講義、国家試験対策講義を実施している。e-learningなどの新しい取り組みなども進めている。	
確認資料	学生便覧、時間割	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	A
3-9-a	教員数は関係法令等を満たしていますか	○
3-9-b	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	○
実施状況等	厚生労働省指定の選任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。	
確認資料	厚生労働省提出書類、教員研修会資料	

3-10	教員の能力向上に向けた取り組みを行っていますか	A
3-10-a	専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	○
3-10-b	校内研修（OJT）を行っていますか	○
3-10-c	企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか（専各連合会主催研修会以外のもの）	○
3-10-d	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させていますか	○
3-10-e	〔職業実践専門課程〕教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	○
実施状況等	専各連行事、新入職員研修、日本臨床工学会、（一社）日本臨床工学技士教育施設協議会社員総会ならびに教員研修などの各種教員研修の参加を行っている。	
確認資料	専各連資料、日本臨床工学会プログラムおよび抄録集、（一社）日本臨床工学技士教育施設協議会社員総会ならびに教員研修プログラムおよび抄録集	

◎地域に根ざした教育（重要）

3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	A
3-11-a	県内の人材を活用して、授業等を行っていますか	○
3-11-b	県内の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか	○
3-11-c	県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	○
3-11-d	県内の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	○
実施状況等	献血やボランティア活動など地域の医療福祉に貢献しながら、医療従事者に必要な教育を実施した。特別授業の実施、出前授業の実施なども積極的に行った。	
確認資料	レジュメ、授業感想アンケート	

3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	B
3-12-a	学生が高知県や各市・町の自然、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	×
3-12-b	交通安全教育を行っていますか（交通事故死者数全国ワースト上位からの脱却を図るべく教育を行っていますか）	○
3-12-c	公共のマナーについて、教育・指導していますか	○
実施状況等	登校時間に学生に声かけをする中で、交通安全教育を行っている。公共のマナーについては、武道取り入れた授業で道徳心を培っており、地域の医療機関での実習でも教育している。	
確認資料	時間割	

④ 学修成果

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	本校における最終的な学修成果とは、資格取得と就職であり、下記の通り本校の教育による成果が現れている。
取組状況と その分析	医療情報学科：検定対策などで、多くの検定試験において高い取得率を維持している。 就職については早い段階で全員内定を得ることができた。 臨床工学学科：臨床工学技士国家試験合格率は高い数値で維持している。 就職については個別指導などで毎年、希望者全員内定を継続している。
今後の 改善方策等	各種検定試験の全員合格を達成するためのシステム作りが必要である。 昨年度実施した就職指導方法の改善により、早期の全員就職内定を達成したが、単年度結果ではなく、引き続きこの取り組みを継続していく。

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	A
4-1-a	資格・免許取得率の目標設定をしていますか	○
4-1-b	取得率向上のための対策等を講じていますか	○
実施状況等	目標設定は明確である。 専任教員を中心に各種検定対策および国家試験対策を実施している。	
確認資料	時間割	

4-2	就職率の向上が図られていますか	A
4-2-a	学生に就職に対する目標を立てさせていますか	○
4-2-b	学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	○
実施状況等	就職ガイダンスおよび個別指導、グループ指導を実施している。 特に医療情報学科では早期の全員就職内定が達成された。	
確認資料	学校案内、ホームページ、時間割	

4-3	高知県内、関連業界への就職が図られていますか	A
4-3-a	早期から、県内または関連業界へ就職することの意義・メリット等について説明していますか	○
4-3-b	高知県内への就職率の向上は図られていますか	○
4-3-c	関連業界への就職率の向上は図られていますか	○
実施状況等	就職ガイダンスおよび個別指導、グループ指導を実施している。また病院実習により、本校学生の県内の医療機関への就職意欲は高い。	
確認資料	学校案内、ホームページ、時間割	

⑤ 学習支援

評価		A
評価結果 (総括)	毎年、ほぼ100%の就職内定率なので、就職に関する体制はこれまで通りで問題ないと思われる。日々の学生からの相談等については、担任の教員がこれにあっている。	
取組状況と その分析	就職ガイダンスおよび個別指導、グループ指導を実施している。 複数回の個人面談の実施とともに、年1回の三者面談を実施している。 教員による奨学金に関する細やかなサポートができるようになってきている。	
今後の 改善方策等	昨年度は途中退学者が多く、中途退学防止のための対策が不十分といえる。個人面談等による原因や傾向の把握はできているものの、近年の学生の変化に対応した対策が必要である。 さらに社会人向けの教育環境の改善や、卒業後の体制作りも引き続きの課題となる。	

◎中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	B
5-1-a	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	○
5-1-b	中途退学防止のための対策を講じていますか	×
実施状況等	複数回の個人面談の実施に加え、問題を抱える学生には随時対応し、必要ならば、保護者との連携をとるなどを行っている。昨年度は学期終了時の退学者が目立ったため、改善が必要である。	
確認資料	三者面談通知書	

◎就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	B
5-2-a	就職等に関する支援部署・相談部署（就職担当部門）はありますか	○
5-2-b	就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	○
5-2-c	より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか	×
実施状況等	就職対策担当教員をおいており、就職相談から、履歴書の添削、面接の対策などの学生支援をしている。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	B
5-3-a	企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	○
5-3-b	就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	×
5-3-c	履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	○
実施状況等	求人票は学生が閲覧できるようにファイルしている。 履歴書の書き方、面接の受け方などの時間を設け、指導している。	
確認資料	求人票、時間割、学校案内、ホームページ	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	A
5-4-a	入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っていますか	○
5-4-b	学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応できる体制がありますか	○
実施状況等	新入生に対してはより早期より、担任の教員による個人面談を実施している。 1年生と上級生との交流会を実施している。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	A
5-5-a	いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	○
5-5-b	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	○
実施状況等	担任の教員による個人面談を実施している。 全学生参加のスポーツレクリエーション大会を実施している。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	A
5-6-a	公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	○
5-6-b	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	○
実施状況等	学生・保護者への奨学金説明会を実施しており、奨学金についての相談は随時受け付けている。入学時の学費減免や、学費サポートプラン制度がある。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	A
5-7-a	学生に対し、定期健康診断を実施していますか	○
5-7-b	有所見者の再健診について適切に対応していますか	○
実施状況等	年に1回、全学生の定期健康診断を実施している。	
確認資料	健康診断個人票	

5-8	生活環境支援体制を整備していますか	A
5-8-a	遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	○
実施状況等	姉妹校の学生のみが入居できる女子寮を完備している。また、本校と提携している不動産屋もあり、アパート・マンションの紹介は常に可能である。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

◎保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	A
5-9-a	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていますか	○
5-9-b	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	○
5-9-c	緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	○
実施状況等	年1回、後援会総会を開催している。年度末に新年度の担任との三者面談も実施しており、保護者との連携は図れている。また緊急時に連絡が取れる体制も整えている。	
確認資料	後援会総会資料	

◎卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	A
5-10-a	年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	○
5-10-b	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	○
実施状況等	データファイルに保存している。	
確認資料	データファイル	

5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	C
5-11-a	資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	○
5-11-b	再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	○
5-11-c	卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか	×
5-11-d	学校は同窓会との連携を図っていますか	×
実施状況等	聴講生制度を導入している。	
確認資料	学生便覧	

5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	D
5-12-a	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	×
5-12-b	教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか	×
実施状況等	社会人の受け入れ体制については、新卒者と同等の待遇になっており、改善が必要である。	
確認資料		

⑥ 教育環境

評価	A
-----------	----------

評価結果 (総括)	本校は、免震構造を採用して建築されており、想定されている大地震にも耐えうる建築体である。臨床工学技士学校養成所指定規則に沿った教室、設備を有している。
取組状況と その分析	教育設備・備品は臨床工学技士学校養成所指定規則に沿って必要最小限度は整備され、メンテナンス体制もほぼ整っている。校舎は免震構造となっており、安全な教育環境が構築されている。新しい備品の購入も進んでおり、より良い教育環境の整備が進んでいる。
今後の 改善方策等	引き続き学外実習の意見を取り入れながら、評価基準の策定を進めていく。 昨年度は海外研修に複数名の学生の参加が見られたが、引き続き積極的に研修に参加するように促していく。

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	A
6-1-a	施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	○
6-1-b	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	○
実施状況等	臨床工学技士学校養成所指定規則に沿った設備・備品を有している。また現場経験がある臨床工学技士が設備の点検補修を適宜行っている。新しい備品の購入も進んでいる。	
確認資料	厚生労働省提出書類	

6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	B
6-2-a	校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	○
6-2-b	校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	○
6-2-c	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	×
実施状況等	病院実習が教育課程の中に組み込まれており、学生・保護者に周知している。成績評価は実習施設の意見を取り入れているが、より評価基準の明確化が必要である。その他に海外研修も実施している。	
確認資料	後援会総会資料	

6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	A
6-3-a	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ていますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	○
6-3-b	施設・設備の耐震化を図っていますか	○
実施状況等	本校は免震構造である。	
確認資料	厚生労働省提出書類	

6-4	防災訓練等を実施していますか	A
6-4-a	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	○
実施状況等	防災訓練は全学生および教職員参加で、年1回実施している。	
確認資料	消防署記録	

⑦ 学生募集と受入れ

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	少子化に加え、高校生の大学志向が強まる中、景気の動向が上向きな社会環境の影響で、受験者数は減少傾向である。その中で、社会人の受け入れ体制の強化が必要である。
取組状況と その分析	計画的な高校訪問、進学ガイダンス、体験入学および学校見学会を実施している。授業料等の納付金の取り扱いも適切に行われている。遠方の高校生向けの出張型体験入学も実施し、ますます学生募集活動の幅を広げている。
今後の 改善方策等	教育訓練給付制度を利用できるようにして、学生の支援体制の強化が必要である。昨今の18歳人口の減少により、県外の高校生の入学に繋がる募集活動にも積極的に取り組む必要がある。また、より綿密なアドミッションポリシーの策定を行い、学生募集の体制強化も目指す。次年度の学生数は大きく減少しており、募集活動の改善は必要とされる。

7-1	学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	A
7-1-a	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	○
7-1-b	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	○
7-1-c	体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	○
7-1-d	入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	○
実施状況等	高校訪問、出前授業、各種説明会などを実施している。また体験入学や学校見学会によって、詳細な説明も行っている。遠方の高校生には出張型の体験入学も実施した。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

7-2	授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	A
7-2-a	入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	○
7-2-b	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応していますか	○
実施状況等	入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額について明示している。入学辞退者への授業料返還も適切に行っている。	
確認資料	学則、学生便覧、学校案内、ホームページ	

7-3	社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	C
7-3-a	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	○
7-3-b	教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取り組んでいますか	×
7-3-c	給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	○
7-3-d	子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えていますか	×
実施状況等	大学生、社会人の受け入れを積極的に行っており、社会人経験者の入学に繋がっている。教育訓練給付制度の取り組みは、今後の課題である。	
確認資料	入学願書	

⑧ 財務

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	開校以来、順調な財務内容を維持している。
取組状況と その分析	受験者数の減少による影響がある。
今後の 改善方策等	社会のニーズをいち早く分析し、学科構成・定員・学納金の見直しなども念頭においている。

8-1	学校及び設置者（法人）の収支、財政基盤は安定していますか	A
8-1-a	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	○
8-1-b	収入と支出のバランスが取れていますか	○
8-1-c	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	○
実施状況等	理事・評議員会において数値を提示されている。	
確認資料	法人理事会・評議委員会資料	

8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	A
8-2-a	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	○
8-2-b	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	○
実施状況等	理事・評議員会において数値を提示されている。	
確認資料	会計報告書	

8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	B
8-3-a	会計監査体制のルールが明確化されていますか	○
8-3-b	会計監査の結果報告が文書化されていますか	○
8-3-c	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	×
実施状況等	理事・評議員会において監査報告されている。	
確認資料	法人理事会・評議委員会資料	

⑨ 法令等の遵守

評価	B
-----------	----------

評価結果 (総括)	法令に関しては、医療専門課程の専修学校として、関連法令は遵守している。
取組状況と その分析	法人においては、監督官庁に対して、申請届出を実施し、学校運営に必要な規定を整備した上で、適正に運用されている。さらに臨床工学学科においては臨床工学技士学校養成所指定規則に則っている。
今後の 改善方策等	学校関係者評価についての、詳細な規定や、組織体制の構築ができておらず、委員の選出や、評価などが一切されていない現状がある。まずは、実施運用の規定の策定から行う必要がある。

9-1	専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされていますか	A
9-1-a	監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	○
9-1-b	学校運営に必要な諸規程を整備し、それを適正に運用していますか	○
9-1-c	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規程を文書化し、対策を立て実行していますか	○
実施状況等	年1回の厚生労働省への報告を行っている。法人本部にハラスメントの相談窓口を設置するなどの対策を講じている。	
確認資料	厚生労働省提出書類	

9-2	個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	B
9-2-a	個人情報の取扱いについて、規程・方針を策定していますか	○
9-2-b	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	○
9-2-c	リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	×
実施状況等	個人情報保護方針を策定して、個人情報の取り扱いも含めホームページに公開している。個人情報保護の遵守は教職員間で確認している。	
確認資料	ホームページ	

9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	B
9-3-a	自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-3-b	実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	○
9-3-c	自己評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-3-d	自己評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	×
実施状況等	文部科学省のガイドラインを参考に、学内での自己評価を実施している。自己評価結果の公表には至っていない。	
確認資料		

9-4	〔職業実践専門課程〕学校関係者評価を実施し、その結果を公表していますか	D
9-4-a	学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されていますか	×
9-4-b	実施のための組織体制を整備していますか	×
9-4-c	設置課程・学科の関連業界等から委員を選出していますか	×
9-4-d	学校関係者評価結果を報告書にまとめていますか	×
9-4-e	学校関係者評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	×
実施状況等	適正に実施する必要がある。	
確認資料		

9-5	学校の教育情報について、積極的に公開していますか	A
9-5-a	学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	○
9-5-b	〔職業実践専門課程〕認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新していますか	○
実施状況等	学校概要、教育内容の情報などは公開している。	
確認資料	学校案内、ホームページ	

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	本校は医療専門課程という特色を活用して、他団体や地域との連携や、キャリア教育にも積極的に貢献しており、高等教育機関として責務を果たしている。
取組状況と その分析	地域の施設や社会福祉協議会などの団体より、数多くのボランティア依頼を受けている。 高校生・中学生を対象にしたキャリア教育も積極的に協力している。 学生による地域のイベントの協力が進んでおり、地域貢献ができている。
今後の 改善方策等	引き続き、地域との連携・交流をさらに進め、より一層の社会貢献ができるよう努めたい。

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	A
10-1-a	地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）等を積極的に受託していますか	○
10-1-b	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	○
実施状況等	本校において関連業界の研修会などを受け入れている。	
確認資料	研修会資料	

10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	A
10-2-a	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	○
10-2-b	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	○
実施状況等	学生は各種ボランティアに積極的に参加している。 教職員は毎朝、清掃作業を実施しており、学生と模範となる行動を心がけている。	
確認資料	ホームページ	

10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	B
10-3-a	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	○
10-3-b	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等（分野により研究・開発）を行っていますか	×
実施状況等	学生は積極的に各種イベントに参加している。昨年度は高知県をあげてのイベントである、高知龍馬マラソンに学生ボランティアが参加しており、地域との交流も深めている。	
確認資料	ホームページ	

10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	A
10-4-a	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	○
実施状況等	高校生・中学生を対象にした専各連の出前授業等に教員を派遣している。	
確認資料	ホームページ	

⑪ 総括

評価		A
評価結果 (総括)	学校評価は昨年度から継続しており、改善も見られている。引き続き、継続することで、業務改善を実施していく。	
取組状況と その分析	昨年度に実施した内容から改善した箇所があり、学校評価の取り組みが機能していると言え、本校の教育活動全体の改善に結びついている。	
今後の 改善方策等	学校評価で達成できていない箇所の改善を行うとともに、評価項目についても見直しが必要と思われる。	

11-1	学校評価の実施について評価してください	A
11-1-a	学校評価の目的（何のために学校評価をするか）が、全ての教職員に浸透していましたか	○
11-1-b	学校評価を積極的に実施できましたか（受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか）	○
11-1-c	評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	○
11-1-d	学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	○
11-1-e	評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	○
実施状況等	担当者を設け、昨年度と同様に文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に実施した。	
確認資料		

4. 自己評価結果(総括)

評価	A
----	---

目標達成状況	<p>今年度の自己評価の達成状況は、すべての大項目についてA評価となった。</p> <p>教育活動、学修成果、学習支援、教育環境、学生募集と受け入れについては、開校から長い年月をかけて築き上げてきた体制によって、ほとんどの点検項目が達成できている。</p> <p>医療情報学科では、早期の全員就職内定を達成しており、改善の結果も見られている。</p> <p>一方、昨年度は臨床工学学科の国家試験の卒業生全員合格が達成できず、従来の教育方法を見直しも必要となる。また退学者も一定数いたことから、退学防止策の見直しも必要となる。これらのことから、現在達成されている評価項目についても、改善を続ける必要がある。</p>
今後の課題・改善方策	<p>大項目で見れば、概ね評価できるものの、個別の点検項目で改善が必要である。</p> <p>昨年同様、評価項目9-4が今回の自己点検の中で最も評価が低く、特に改善が必要な箇所である。職業実践専門課程の認定を得るためには、学校関係者評価の実施は必須であることから、ルール策定から組織体制の整備を実施していきたい。</p> <p>近年の少子化の影響により、高知県の高校生の数も一層減少していることから、昨年度も受験者数も大きく減少する結果となった。定員確保が厳しい状況の中、退学者の防止が重要な課題となっている。一方で学生数の減少は、専任教員1人あたりの学生数(ST比)の減少を意味しており、より学生のサポートがしやすい環境であると言える。この状況を積極的に活用して、退学率を低下する改善を進めていく。</p>